

高等学校学習指導要領

(平成21年3月告示)

平成22年度徳島県高等学校教育課程研究集会「家庭部会」

共通教科「家庭」

第2章 各学科に共通する各教科

第9節 家庭

専門教科「家庭」

第3章 主として専門学科において開設される各教科

第5節 家庭



改訂の基本的な考え方



平成20年1月 中央教育審議会答申

・改善の基本方針及び改善の具体的事項

家庭科，技術・家庭科については，その課題を踏まえ，実践的・体験的な学習活動を通して，家族と家庭の役割，生活に必要な衣，食，住，情報，産業等についての基礎的な理解と技能を養うとともに，それらを活用して課題を解決するために工夫し創造できる能力と実践的な態度の育成を一層重視する観点から，その内容の改善を図る。

その際，他教科等との連携を図り，社会において子どもたちが自立的に生きる基礎を培うことを特に重視する。

(1) 改善の基本方針

家庭科，技術・家庭科家庭分野については，自己と家庭，家庭と社会とのつながりを重視し，生涯の見通しをもって，よりよい生活を送るための能力と実践的な態度を育成する視点から，子どもたちの発達の段階を踏まえ，学校段階に応じた体系的な目標や内容に改善を図る。

平成20年1月「中央教育審議会答申」より

空間軸

時間軸

体系化

小

家族の一員としての自覚

中

これからの生活を展望する

高

生涯にわたる生活を設計する

小中の体系化

基礎・基本の定着

小学校 家庭科

A 家庭生活と家族

- (1) 自分の成長と家族
- (2) 家庭生活と仕事
- (3) 家族や近隣の人々とのかかわり

B 日常の食事と調理の基礎

- (1) 食事の役割
- (2) 栄養を考えた食事
- (3) 調理の基礎

C 快適な衣服と住まい

- (1) 衣服の着用と手入れ
- (2) 快適な住まい方
- (3) 生活に役立つ物の製作

D 身近な消費生活と環境

- (1) 物や金銭の使い方と買物
- (2) 環境に配慮した生活の工夫

中学校技術・家庭科(家庭分野)

A 家族・家庭と子どもの成長

- (1) 自分の成長と家族
- (2) 家庭と家族関係
- (3) 幼児の生活と家族

B 食生活と自立

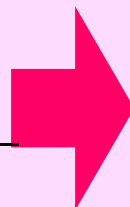
- (1) 中学生の食生活と栄養
- (2) 日常食の献立と食品の選び方
- (3) 日常食の調理と地域の食文化

C 衣生活・住生活と自立

- (1) 衣服の選択と手入れ
- (2) 住居の機能と住まい方
- (3) 衣生活, 住生活などの生活の工夫

D 身近な消費生活と環境

- (1) 家庭生活と消費
- (2) 家庭生活と環境



中学校 家庭分野の内容構成

平成10年 現行学習指導要領

A生活の自立と衣食住	B家族と家庭生活
(1)中学生の栄養と食事 (2)食品の選択と日常食の調理の基礎 (3)衣服の選択と手入れ (4)室内環境の整備と住まい方	(1)自分の成長と家族や家庭生活とのかかわり (2)幼児の発達と家族 (3)家庭と家族関係 (4)家庭生活と消費
(5)食生活の課題と調理の応用 (6)簡単な衣服の製作	(5)幼児の生活と幼児との触れ合い (6)家庭生活と地域とのかかわり

・小学校と同じ枠組み
A, B, C, Dで構成
 ・社会の変化に対応
内容, 項目の必修化

新学習指導要領 平成20年

A家族・家庭と子どもの成長 (1)自分の成長と家族 (2)家庭と家族関係 (3)幼児の生活と家族
B食生活と自立 (1)中学生の食生活と栄養 (2)日常食の献立と食品の選び方 (3)日常食の調理と地域の食文化
C衣生活・住生活と自立 (1)衣服の選択と手入れ (2)住居の機能と住まい方 (3)衣生活, 住生活などの生活の工夫
D身近な消費生活と環境 (1)家庭生活と消費 (2)家庭生活と環境

教科(分野)目標

小学校

衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な**基礎的・基本的な知識及び技能**を身に付けるとともに、**家庭生活を大切に**する心情をはぐくみ、家族の一員として生活を**よりよく**しようとする実践的な態度を育てる。

**家庭生活への関心を高め、
衣食住の営みの大切さに気付くこと**

中学校

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な**基礎的・基本的な知識及び技術**を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、**これからの生活を展望して**、課題をもって生活を**よりよく**しようとする能力と態度を育てる。

**将来にわたる自立した
生活の見通しをもつこと**

(2) 改善の具体的事項(高等学校：共通教科「家庭」)

人間の発達と生涯を見通した生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義と社会とのかかわりについて理解させるとともに、生活に必要な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活を創造する能力と主体的に実践する態度を育てることを重視し、次のような改善を図る。

- ・家庭を築くことの重要性
- ・食育の推進
- ・少子高齢社会における子育て理解や高齢者の肯定的な理解や支援する行動力の育成
- ・日本の生活文化にかかわる内容の充実

社会の変化への対応

- ・高校生の発達課題と生涯生活設計、キャリアプランニングなどの学習を通して、次世代を担うことや生涯を見通す視点を明確にするとともに、生涯賃金や働き方、年金などとの関係に関する指導などを加え、生活を総合的にマネジメントする内容を充実する。その際、生涯にわたる生活経済や深刻な消費者問題、衣食住生活と環境とのかかわりなどを科学的に理解させるとともに社会の一員として生活を創造する意思決定能力を習得させることを明確にした。

- ・家庭科の学習を実際の生活と結び付け、問題解決学習を行うホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動については一層充実させる。

小学校

- ◆ 家庭生活の事実認識
- ◆ 生活の知恵の発見
- ◆ 生活技能獲得の喜び

中学校

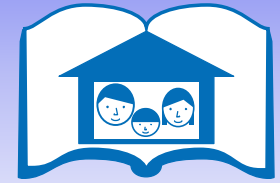
- ◆ 家庭や家族の基本機能の理解
- ◆ 人間関係調整の基礎
- ◆ 生活実践力の基礎

高等学校

- ◆ 人間の発達と生活の営みの総合的理解
- ◆ 生活の科学的な認識
- ◆ 意志決定能力
- ◆ 問題解決能力
- ◆ 家庭生活経営能力
- ◆ 生活の創造的能力

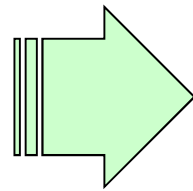


共通教科「家庭」の目標



人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて、理解させるとともに、生活に必要な知識と技術を習得させ、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる

- 家庭基礎(2単位)
- 家庭総合(4単位)
- 生活技術(4単位)



- 家庭基礎(2単位)
- 家庭総合(4単位)
- 生活デザイン(4単位)

教科目標の改善

- ・「**人間の生涯にわたる発達**」とは、人間が生まれてから死ぬまでの間、身体的、精神的に変化し続け、各ライフステージの課題を達成しつつ発達するという生涯発達の考え方を重視
人の一生を時間軸としてとらえるとともに、生活の営みに必要な金銭、生活時間、人間関係などの**生活資源**や、衣食住、保育、消費などの**生活活動にかかわる事柄**を空間軸としてとらえ、各ライフステージの課題と関連付けて理解させることが重要
- ・生活に必要な知識と技術の習得を通して、**共に支え合う社会の一員として主体的に行動する意思決定能力を身に付け**、男女が協力して家庭や地域の生活を創造することができるようにすることを重視している。



共通教科「家庭」改訂の視点

- ◆ 社会から求められる課題(少子高齢社会, 食育の推進, 消費者教育等)を重視
→特に「家庭総合」で充実
- ◆ 高校生の発達課題と生涯生活設計やキャリアプランニングなどに関わる内容を充実
→全科目とも設置
- ◆ 衣食住などの分野の科学的な理解を深める
- ◆ 社会の一員として生活を創造し行動する意志決定能力の育成
- ◆ 問題解決学習の重視 →ホームプロジェクト
学校家庭クラブ活動の一層の充実

各科目の改善事項



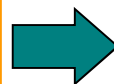
- (1) 「**家庭基礎**」 青年期の課題である自立と共生という視点から、家庭・家族、福祉、衣食住、消費にかかわる基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、環境に配慮したライフスタイルとのかかわりを深める学習を重視
- (2) 「**家庭総合**」 生涯を見通した生活を営むために必要な家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、持続可能な社会を目指したライフスタイルの確立に関する学習を重視
- (3) 「**生活デザイン**」 実験・実習等の体験を特に重視し、衣食住の生活文化に関心をもたせるとともに、生涯を通して健康と環境に配慮した生活を主体的に営むことができるようにすることを重視

各科目の改善事項



◆食分野についてはすべての科目で重視

家庭基礎 (2単位)



自立と共生の能力を育成
ミニマムエッセンシャル

家庭総合 (4単位)

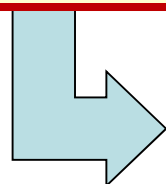


生涯を見通した生活
ライフステージごとの課題
科学的な理解

生活デザイン(4単位)



生活を設計し創造する
実験・実習を重視



4単位科目は,複数学年で学習できる

家庭基礎(2単位)ミニマムエッセンシャルの内容

(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉

- ア 青年期の自立と家族・家庭
- イ 子どもの発達と保育
- ウ 高齢期の生活
- エ 共生社会と福祉

人とつながり
共に生きる力

ライフステージごとの
課題と関連付ける

(2) 生活の自立及び消費と環境

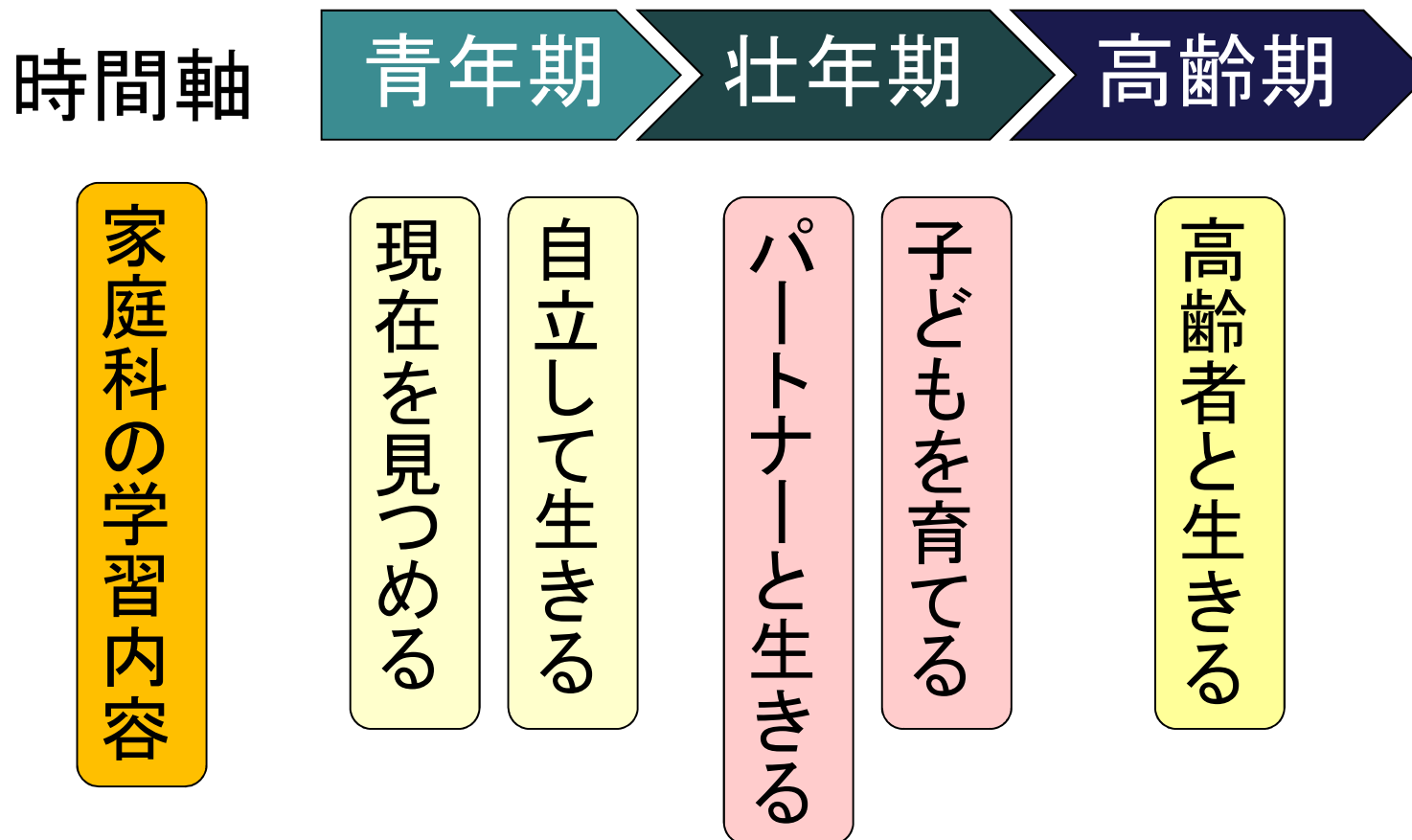
- ア 食事と健康
- イ 被服管理と着装
- ウ 住居と住環境
- エ 消費生活と生涯を見通した経済の計画
- オ ライフスタイルと環境
- カ 生涯の生活設計

生涯を見通して生活
を主体的に営む力

(3) ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動

生活課題を見つけ、自ら解決する力

家庭科の内容と ライフステージの課題を関連付ける



生まれてから死を迎えるまでの人間の発達を学習する

家庭総合(4単位) 生涯を見通した生活を営む 生活の科学的理解

(1) 人の一生と家族・家庭

(5) 生涯の生活設計

(2) 子どもや高齢者とのかかわりと福祉

(3) 生活における経済の計画と消費

(4) 生活の科学と環境

(6) ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動

生涯を見通して生活を設計し、創造する力

様々な人とつながり、共に生きる力

生涯を通して健康で文化的な生活を創り営む力

生活課題を見つけ、自ら解決する力

生活デザイン(4単位)生活を創造する衣食住を重視 選択項目を設置😊

(1)人の一生と家族・家庭及び福祉

- 😊 子どもとの触れ合い
- 😊 高齢者とのコミュニケーション

(2)消費者や環境に配慮した
ライフスタイルの確立

生涯を見通した生活を考え、様々な人とつながり共に生きる力

(3)食生活の設計と創造

おいしさ

- 😊 食生活のデザインと実践
- 😊 衣生活のデザインと実践
- 😊 住生活のデザインと実践

(4)衣生活の設計と創造

装い

(5)住生活の設計と創造

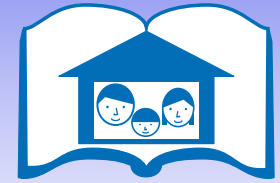
快適さ

生活を楽しみ
味わい、創る力

(6)ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動

生活課題を見つけ、自ら解決する力

言語活動の充実



今回の学習指導要領の改訂において
各教科等を貫く重要な改善の視点

言語の役割

知的活動, コミュニケーション, 感性・情緒の基盤

思考力・判断力・表現力をはぐくむ → 学力

言語活動との関係を重視した指導方法の工夫

- 子どもや高齢者など様々な人と触れ合い，他者とかかわる力を高める活動

保育体験学習，高齢者との交流

- 衣食住などの生活における様々な事象を言葉や概念などを用いて考察する活動

話す，聞く，書く，読むことを通じた学習

- 判断が必要な場面を設けて理由や根拠を論述したり解決方法を探究したりする活動

ホームプロジェクト，学校家庭クラブ活動

様々な語彙の意味を実感を伴って理解させるため，実践的・体験的な活動を一層重視することが必要

問題解決的な学習の重視



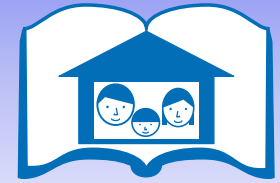
学習した知識と技術の一層の定着，総合化
実生活に活用する力の育成

ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動

学習指導要領に趣旨を明記

自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し，解決方法を考え，計画を立てて実践することを通して生活を科学的に探究する方法や問題解決の能力を身に付けさせる

食育の推進



【高等学校学習指導要領 総則 第1教育課程編成の一般方針】

- 4 ……**学校における食育の推進**……に関する指導については、保健体育科はもとより、**家庭科**、特別活動などにおいても、**それぞれの特質に応じて適切に行う**よう努めることとする。

内容の取扱いに当たっての配慮事項(3)

食に関する指導については、家庭科の特質を生かして、食育の充実を図ること

道徳教育の充実



教科目標

人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、**家族・家庭の意義**，家族・家庭と社会とのかかわりについて、理解させるとともに、**生活に必要な知識と技術を習得**させ、男女が協力して**主体的に**家庭や地域の**生活を創造する能力と実践的な態度を育てる**

- 生活に必要な知識と技術を習得すること

➡ 望ましい生活習慣を身に付けることや
勤労の尊さや意義を理解することにつながる

- 家族・家庭の意義を理解させることや主体的に生活を創造する能力などを育てること

➡ 家族への敬愛の念を深める
家庭や地域社会の一員としての自覚をもって自分の生き方を考え、生活をよりよくしようとするにつながる

専門教科「家庭」の改訂

○ 少子高齢社会の進展やライフスタイルの多様化、食育の推進などの社会の要請に対応し、衣食住、ヒューマンサービスなどにかかわる生活産業への消費者ニーズの的確な把握や必要なサービス提供等を行う企画力・マネジメント能力を身に付け、生活文化を伝承し創造する人材を育成する観点から、科目の新設を含めた再構成、内容の見直しなど次のような改善を図る。

(ア) 教科の目標については、衣食住、ヒューマンサービスなどにかかわる生活産業の各分野で職業人として必要とされる資質や能力とともに、生活文化の伝承と創造に寄与する能力と態度を育成することを明確にする。



専門教科「家庭」の科目構成(19科目→20科目)

新学習指導要領	現行学習指導要領	備 考
生活産業基礎	生活産業基礎	原則履修科目
課題研究	課題研究	原則履修科目
生活産業情報	家庭情報処理	名称変更
消費生活	消費生活	
子どもの発達と保育	発達と保育	名称変更
子ども文化	児童文化	名称変更
生活と福祉	家庭看護・福祉	名称変更
リビングデザイン	リビングデザイン	
服飾文化	服飾文化	
ファッション造形基礎	被服製作	分類整理
ファッション造形		
ファッションデザイン	ファッションデザイン	
服飾手芸	服飾手芸	
フードデザイン	フードデザイン	
食文化	食文化	
調理	調理	
栄養	栄養	
食品	食品	
食品衛生	食品衛生	
公衆衛生	公衆衛生	

専門教科「家庭」改訂の視点

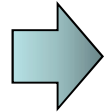
- ① 少子高齢社会の進展やライフスタイルの多様化，食育の推進など社会の要請への対応 「生活と福祉」，「子どもの発達と保育」，「子ども文化」，「フードデザイン」
- ② 衣食住，ヒューマンサービスにかかわる生活産業への消費者ニーズの的確な把握や必要なサービスの提供等を行うための企画力，マネジメント能力の育成 「生活産業基礎」，「消費生活」
- ③ 生活文化を伝承し創造する人材の育成 「リビングデザイン」，「服飾文化」，「ファッション造形基礎」，「ファッション造形」



「生活産業」のスペシャリストを育成する視点を明確に

科目構成(名称変更等があった科目)

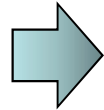
家庭情報処理



生活産業情報

生活産業の各分野で、情報を適切に処理し、活用することを重視

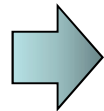
発達と保育



子どもの発達と保育

次世代育成推進, 子育て支援の必要性に対応, 発達の主体と保育の対象を明確化

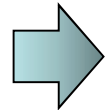
児童文化



子ども文化

現代の生活に基づく遊びや表現活動を幅広く扱う, 子どもとかかわる人材の育成

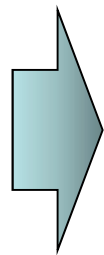
家庭看護・福祉



生活と福祉

高齢者福祉の制度変化に対応し, 介護予防と自立生活支援に関する内容を充実

被服製作



ファッション造形基礎

デザインや着用目的に適した被服の製作

ファッション造形

高度な縫製技術の習得, ファッション産業やアパレル産業にかかわる人材の育成

専門教科「家庭」の目標

家庭の生活にかかわる産業に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、生活産業の社会的な意義や役割を理解させるとともに、生活産業を取り巻く諸課題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、生活の質の向上と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる

◆ 家庭の生活にかかわる産業とは

衣食住、保育、家庭看護や介護など
ヒューマンサービスに関連する産業



専門教科「家庭」の目標

◆ 生活産業を取り巻く諸課題

- ・ものの豊かさから心の豊かさへ
- ・画一・均質から多様性・選択の自由の拡大へ
向かっている消費者のニーズを的確に捉える
- ・安全で安心であること

倫理観をもって

職業人としての規範意識

◆ 生活の質の向上



普通科等での職業科目の履修

【高等学校学習指導要領 第1章総則 第5款の4の(1)】

普通科等においては、地域や学校の実態、生徒の特性、進路等を考慮し、必要に応じて、適切な職業に関する各教科・科目の履修の機会の確保について配慮するものとする

普通科において履修することが考えられる各科目

「消費生活」、「子どもの発達と保育」、「子ども文化」、
「生活と福祉」、「リビングデザイン」、
「ファッション造形基礎」、「フードデザイン」



学習評価について

平成22年5月11日「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善について(通知)」

学力の3つの要素

- ・主体的に学習に取り組む態度
- ・知識・技能を活用し課題を解決するために必要な
思考力・判断力・表現力等
- ・基礎的・基本的な知識・技能

新しい評価の観点

- ◆ **関心・意欲・態度**
- ◆ **思考・判断・表現**
- ◆ **技能**
- ◆ **知識・理解**



共通教科「家庭」の観点及びその趣旨 新旧比較

新指導要領に基づく学習評価	現行指導要領に基づく学習評価
関心・意欲・態度 家庭や地域の生活について関心をもち、その充実向上を目指して 主体的に取り組もうとする とともに、実践的な態度を身に付けている	関心・意欲・態度 家庭や地域の生活について関心をもち、その充実向上を目指して 意欲的に取り組む とともに、実践的な態度を身に付けている
思考・判断・表現 家庭や地域の生活について 課題を見だし 、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身に付けている	思考・判断 家庭や地域の生活について 見直し、課題を見付け 、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身に付けている
技能 家庭や地域の生活を充実向上するために必要な 基礎的・基本的な技術 を身に付けている	技能・表現 家庭や地域の生活を充実向上するために必要な 基礎的・基本的な技術 を身に付けている
知識・理解 家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活を充実向上するために、必要な 基礎的・基本的な知識 を身に付けている	知識・理解 家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活を充実向上するために、必要な 基礎的・基本的な知識 を身に付けている

今後の指導のポイント



① 人間の発達を学ぶ視点にたつ

- ・生涯を見通す
- ・自らのライフプランを展望する力
- ・社会的な自立を支える視点

生涯の生活設計

② 家庭科でねらう力を明確にする

- ◆ 生活理論と実践力を結び付ける
- ◆ 問題解決能力, 意志決定能力を付ける
- ◆ 言語活動を重視した指導の工夫

学習する楽しさと生涯にわたる生活に活用できる授業